



人麿神社の拝殿―檀原市で



（住所）檀原市地黄町445  
 歩約15分  
 （拝観）境内自由  
 （駐車場）なし  
 （電話）なし

## 人麿神社 （檀原市）

万葉歌人で歌聖と称される柿本人麻呂を祭神とする人麿神社は、南に畝傍山、西に二上山を望む檀原市地黄町に鎮座します。檀原市史などによると、柿本神社（葛城市）から分霊され、地名は、この地が葉草サホヒメの根茎（地黄）の産地だったことに由来します。



南にある桜池は、江戸時代に景勝地などを記した

# 万葉の歌聖 祭神に

「大和名所図会」で「桜の頃は美観とす」と紹介されました。池の北側に「和歌の神」である玉津島神社の祠があります。

本殿では昭和の修理で南北朝時代の1345（康永4）年の棟木銘を発見。檜皮葺きで、柱間と餅座があり、10月に巫

は一つ。春日造り（切り妻屋根で、棟と直角な面に入り口がある様式）と隅木（軒の四隅を斜めに支える材）を白合わせた「間社隅木入り春日造り」（重文）です。ひさしの横木の木鼻（端）に獣の形の装飾があります。

かつて祭祀組織の芋座子（かづま）がそびえ、人麻呂の万葉歌碑「秋山の黄葉を茂み迷ひぬる妹を求めむ山道知らずも」があります。

（奈良まほろばソムリエの会会員 平越真澄）

祭を、5月に子どもがスズを付け合う「すすつけ祭」（県無形民俗文化財）を開きましたが、今は中断中。5月に神社北方の野上塚で豊年祈願する参拝などは現在も地元住民により行われています。

境内には紅葉する無患子がそびえ、人麻呂の万葉歌碑「秋山の黄葉を茂み迷ひぬる妹を求めむ山道知らずも」があります。

（奈良まほろばソムリエの会会員 平越真澄）